

令和6年度 第3回末野原地域会議 会議録

- 日 時 令和6年6月20日（木） 午後7時から8時45分
■場 所 末野原交流館 2階 第1中会議室
■出席者 委員 : 14名（欠席 2名）
事務局（上郷支所）：下川支所長、小船担当長

■次 第

「豊田市民の誓い」 唱和

- 1 会長あいさつ
- 2 第2回地域会議の会議録について
- 3 第2回意見シートまとめ
- 4 末野原地域を知る
- 5 協議事項
(1) 地域会議で検討するテーマの選び方について
- 6 その他
(1) 上郷地域バスについて
(2) 次回の地域会議について

■議事（要約）

- 1 会長あいさつ 省略

- 2 第2回地域会議の会議録について

第2回地域会議の会議録の内容確認を行い、了承を得た

- 3 第2回意見シートまとめ

・第2回意見シートのまとめを事務局から報告し、第10期の協議スケジュールを確認した。

- 4 末野原地域を知る

末野原地域を知る情報として次の事項について事務局から説明した。

- ・市の計画（豊田市総合計画）における末野原地域の位置付けについて
- ・既存のアンケート調査結果（資料集）について
- ・第9期地域会議の提言に関する協議内容について

- 5 協議事項

- (1) 地域会議で検討するテーマの選び方について

・テーマの選定方法と委員自身が考える地域課題について、3グループにわかれて意見交換をした。

・グループでの意見交換を踏まえて、委員自身の意見を第3回意見シートにより

回答を依頼した。

- ・テーマの選定方法については、第3回意見シートの意見を基に、次回の会議（第4回地域会議）で決定する予定。

<意見・質問>

（委員）前回、末野原地区が交通安全の提言をしたが、末野原地区以外に交通安全を取上げたところがどれくらいあり、末野原地区との相違点または類似点は何か、また予算化はどうなったのかわかれば教えてください。

（事務局）次回以降に回答する。

<各グループの意見交換まとめ（発表内容）>

①グループ【選定方法㊦】

- ・テーマの選定にあたり、データを新たにとっていくこともいいが、これまでのデータを活用するのも大事
- ・テーマの選定方法を中心に話すのではなく、抱えている問題や、こんなことが実現できたらというような内容を中心に意見交換した。
- ・主な内容は、地域組織の維持が困難な状況であること、交通安全の具体的な対策の必要性、新たな地域の魅力づくりの3点
- ・地域組織の維持は、例えば、これまでは、ある程度役割を担いながら意見を言う形であったが、最近では、自治会の役員や当番などに参加はしないが、要望や意見は言う方が増えており、世代にもよるが、住民の意識の変化を感じ、担い手不足が課題である。
- ・交通安全は、昨年度提言をしたが、具体的な対策が必要な場所があるのでなんとか方法はないか。例えば、信号設置はルールがあり、設置が難しい場合があるが、あかりで横断歩行者がわかる、車の接近がわかるなど別の方法で対策ができないか。
- ・新たな地域の魅力づくりは、例えば、渡刈町から豊栄町まである昔の拳母線廃線跡地に桜並木をつくったらどうか、あるいは公園に子どもの遊具はあるが高齢者向けの遊具（健康遊具）を設置したらどうか。
- ・その他、我々、地域会議が地域に知られていないため、地域会議のネームバリューを挙げていくことが必要。

②グループ【選定方法㊩→㊦→㊧】

- ・進め方としては、選定方法の全ての方向から、問題を解決していく方向性をもたないといけない
- ・配布資料では、末野原地域の範囲でデータがあるが、そのデータをさらに小学校区の範囲で分析すると、そこから色々な課題が見えてくる可能性がある。
- ・小学校区ごとのデータに差があるところを見つけて、どうしたらいいか方向性を出す。
- ・その後、データから考えるとして、アンケートの結果を集約する。各自治会の役員等にアンケートを出してみるなどをしたらどうか。
- ・アンケートを新たに作っていく際に、アンケートの項目を考えて出さないと、同じ

ような結果になるので、その設問項目をデータから掘り下げて考える必要がある。

- ・データから選び、地域を聞き、社会潮流を確認する、というステップで考えたいのではないかと話がまとまった。
- ・いろいろな団体で同じ事業を実施していることがある。例えば防災訓練であれば、市、自治区（地域）、末野原地域（コミュニティ単位）などそれぞれでやっていたり、その団体ごとで同じ項目で実施するので、何が主なのかわからなくなる。防災訓練として、ひとつの道筋を立てた、市がこんな動きをするから、自治区はこう動いてねというそれぞれの役割を明確にするとよいとの意見があった。
- ・このデータから見て、地域から見て、社会潮流から見てを分析すると、何らかのきっかけが見えてくると思うので、そのきっかけを基に、最終的には個人の意識を向上させるということを考えていきたいと考えた。

③グループ【㊦→㊧→㊨】

- ・②グループと基本的には一緒
- ・最初はデータから分析する。それから時代の流れも必要なので、社会潮流を意識しながら、地域の声を確認したらどうか。
- ・地域の声については、わざわざアンケートを実施するというよりも、地域団体の議事録などからも、地域で話題になっていることを確認できるのではないかという意見であった。
- ・これから話し合っていく上で、第9期の振り返りから、なるべく早い段階でテーマを決めた方がいいのではないか。
- ・テーマについても、ひとつにするか、ふたつ以上にするのかは悩ましい。小学校区で生活環境が違うので、課題が違う場合があるので、分けて考えてみる意識が必要ではないか。
- ・社会潮流から考えると、具体的な話題として、ヘルメットの着用率が低いように感じるとの意見もあった。

6 その他

事務局から、次の事項について連絡

- ・上郷地域バスについて
- ・次回の地域会議について
と き：令和6年7月18日（木）午後7時から
ところ：末野原交流館2階 第1中会議室